


銀輪



10周年記念誌
社団法人江田島町シルバー人材センター

『銀輪』

「シルバー」という言葉は、一般的には、高齢でいたわるべき対象というイメージを持たれています。しかし、シルバー人材センターで言うところの「シルバー」は、元気で生きがいのある高齢者を指しています。その生き生きとした姿を、銀の輝きで表すことで、これまでのシルバーの概念との区別を明確にしました。

歳を重ねることは、決して老いていくことではなく、知識や経験を培い、豊かに成長していくことであります。

そうしたことから、美しく輝きながら歳を重ねることを『銀輪』という言葉に込めました。

ごあいさつ



理事長
山佐 一男

設立10周年を迎えて

社団法人江田島町シルバー人材センターは、お蔭様でこの度設立10周年を迎えることができました。

会員の皆さまと共に心からお慶び申し上げたいと思います。

顧みますと、当センターは発足以来、幾多の困難を克服しつつ着実に発展してまいりました。

設立当初、センターの会員数167人が、現在（平成14年）244人、契約金額も35,079,000円が76,680,000円と飛躍してまいりました。

これもひとえに、国、県をはじめ江田島町当局の力強いご支援、ご指導と町内の皆さまの暖かいご理解とご支援、さらに会員の皆さまのたゆまぬご精進とご努力の賜物と心より感謝申し上げる次第であります。

さて、高齢化が急速に進展する中で活力ある高齢社会を構築し維持していくためにシルバー人材センターの役割はきわめて大きいものがあります。

今江能四町では、合併問題が真剣に討議されています。当センターも四町合併に伴う統合に全力をあげて取組まなければなりません。

私たちは、こうした時代の要請に応えるべく自主・自立・共働・共助の基本理念に基づいた事業活動を積極的に展開していきたいと考えます。

ここに設立10周年という記念すべき節目に当り、私たちは今日まで歩んできた道に思いをいたすと共に、これからまた将来に向かってさらなる飛躍をめざす出発点にしたいと思えます。

今後とも、会員、役職員が一体となって事業運営に一層の努力を傾けてまいりますので、この上とも皆さまのご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終りに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしましてあいさつといたします。

銀輪

江田島町
シルバーワークプラザ

かえりて
片手ハンドル
携帯電話

交通安全



ごあいさつ



社団法人広島県シルバー人材センター連合会
会長

樋渡 敬宇

祝 辞

社団法人江田島町シルバー人材センターが、記念すべき10周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

貴センターにおかれましては、法人設立以来今日まで、役員、職員と会員の皆様方の固い結束のもと、「自主・自立、共働・共助」の理念を合言葉に、事業の拡大と技術の向上に努められ、着実に地域社会の発展に貢献されて10周年を迎えられました。これまでの数々のご苦勞に心からご慰勞申し上げますとともに、各位の地道なご尽力に対し深く敬意を表します。

また、ワークプラザの設置など支えていただきました江田島町ご当局をはじめ、地域の関係各位のご支援に厚くお礼申し上げます。

さて、シルバー人材センター事業は、少子高齢化が進む中、超高齢化社会の到来を目前にして、その社会的役割が益々重要なものとなってきております。

活力ある地域社会を維持し、魅力ある地域づくりに、高齢者の長年蓄積された知識や技能を地域社会への還元、自らの生き甲斐と健康保持、社会奉仕活動の推進や社会進出への寄与等更なる充実が期待されているところであります。

県連合会といたしましても、センターの更なる発展・拡充に向けて支援して参ります。

貴センターにおいても、高齢者と地域社会の多様なニーズと時代の変化に相応し、地域社会から厚い信頼と高い評価を得られますよう、引き続きご尽力をお願い申し上げます。

この10周年記念誌発刊を新たな契機として、役職員、会員が力を合わせられ、更なる前進をされますことを希望するところであります。

終わりに、貴センターの今後の発展と皆様方のご活躍をご祈念申し上げます、お祝いの言葉とします。



江田島町長
曾根 董

『好きこそものの上手なれ』

(社)江田島町シルバー人材センター設立10周年によせて

高齢者が生きがいと活力と展望を持ってその能力を総合的に発揮される機関の一つとして、平成4年10月に社団法人として設立し、早や10年の歳月が経過しました。

その間、会員各位の不断の努力と一致団結した心構えで、信用と信頼の輪ができ、今では、本町のさまざまな委託業務を始め、草刈り・剪定・竹炭づくり等々その業務内容は一般住民の方々にも好評を博しています。

また、サービス内容も多種多様にわたり、年間の事業量（請負額）も当初と比べて飛躍的に増加しており大変嬉しいことと喜んでいるところです。

『好きこそものの上手なれ』という諺がありますが、若いときにいろいろと苦勞や研鑽をされ、一定の技量を身に付けておられる諸先輩の「匠の技」を無理のない範囲で、これからも十二分に披露していただきたいと願うところです。

次に、超高齢化社会を迎え、小子化・核家族化という人口構造を抱えるわが国において、今後とも皆様方の各分野でのご活躍を祈念し、元気で楽しく長寿社会をお過ごしくださるようお願い申し上げますとともに、貴センター及び会員各位並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念してお祝いのあいさつとさせていただきます。

シルバー人材センター 10年のあゆみ

目次

写真でふりかえる10年のあゆみ	8
10周年記念式典	30
座談会	32
資料編	36



江田島町議会議長
伊藤 富美雄

お祝いの言葉

社団法人江田島町シルバー人材センターが、設立10周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

江田島町シルバー人材センターは、平成4年10月に設立され、高齢者の皆様方の社会参加と生きがいづくりの場として、現在240人の会員が参加されており、実績も着実に進展しておりますことは、役員をはじめ会員皆様方の地域社会に貢献していこうとする熱意と、責任感の賜物と敬意を表するものであります。

「人生80年時代」を迎えた今日、生涯を通じて生きがいのある、明るく健康で活力に満ちた生活を営みたいと、誰もが願っているところでもあります。

その意味からも、高齢者の方々がシルバー人材センターを通じて、長い人生の中で培ってこられた豊富な知識や技能、経験を生かしながら、積極的に社会参加しておられますことは大変意義深いことであると同時に、本町における働く意欲のある高齢者の方々にとっても、シルバー人材センターの果たす役割は極めて大きく、地域社会の活性化と福祉の増進に貢献されていることを、改めて認識いたすものであります。

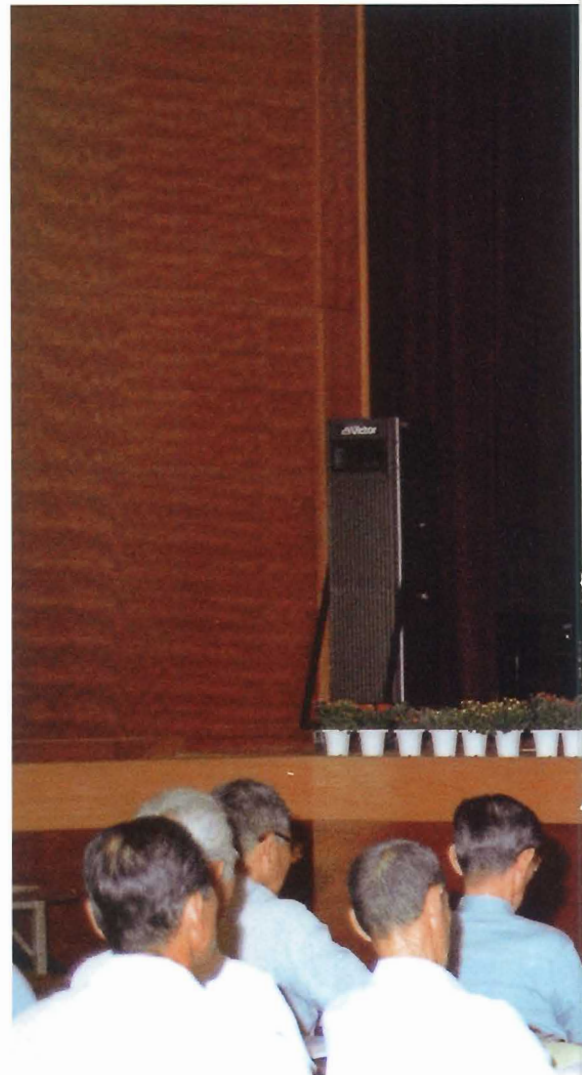
皆様方には、今後とも個々の能力や技術を大いに発揮され、社会に還元されるようお願い申し上げます。

終わりにあたり、地域に根ざした江田島町シルバー人材センターのますますのご発展と会員皆様方のご健勝・ご多幸を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成4年

- 9.21 設立総会開催
 定款・就業及び配分金規約等の制定
 当初予算額 31,432千円
 会員数 167名
 会費 1,000円
- 10.20 広島県知事の設立許可
 社団法人設立登記完了
- 12.8 安全就業委員会発足

1992



■設立総会

高齢化社会に対応したシルバー人材センター

シルバー人材センターはこんな仕事をしています。

- 庭掃除
- ワープロ
- パソコンでの印刷づくり
- 大工仕事
- 包丁研ぎ
- 浴室の掃除
- 賞状書き
- 食卓の支度
- 買い物
- 障子・襖の清掃
- 戸口の清掃
- 家具等の移動 (同じフロアのみ)
- 倉庫 物品庫等の整理
- 植木の手入れ (剪定)
- 除草・お掃除
- 車全般の手入れ
- 畳の清掃
- 草取り (機械対と手対りがあります)
- ガラス拭き (1階のみ)
- 波板の清掃 (1階のみ)
- チャシ配布・あて名書き
- ペンキ塗装 洗たく

竹炭・竹酢液をお試しください

竹炭・竹酢液の良さを、より多くの人に理解し、使用していただき快適な生活を送って取り組んでいます。ぜひ一度お試しください。その他、手芸品等も販売しています。

社団法人 江田島町シルバー人材センター

〒737-2122
 安芸郡江田島町中央一丁目15番15号

TEL (0823) 42-5211
 FAX (0823) 42-5051



平成5年

- 2.16 広報委員会発足
- 2.24 開拓委員会発足
- 3.29 3月期通常総会開催
当初予算額 66,858千円
- 3.31 ふるさと交流館へ事務所移転
職群別・地域別に班結成
- 4 術校ガイド班・手打うどん班発足
- 4.16 ふるさと交流館オープン
- 5.31 5月期通常総会開催
決算額 35,362千円
会員数 167名
定款の一部変更
理事(11名)及び監事(2名)の選任
- 7.10 シルバー江田島創刊号発刊
- 10.13 会員親睦旅行(湯原温泉)
~14

1993



■家屋補修作業



■剪定作業



■草刈り作業

祝 江田島町シルバー人材センター設立総会



■ 設立総会

発足当時の思い出から

中央地区 山佐 勇さん
平成2年の発足当時は10名前後でのスタートでした。みんな社会奉仕の精神が旺盛で、早速草刈機を購入し草刈から始めました。その傍ら、ペンキ塗り、屋根の雨漏りや壁の修理等、要請があれば、時には失敗もありましたが、みんな張切って毎日楽しく働いていました。平成4年、新本さんが突然に蜂の大群に襲われて死亡されました。一生忘れることのできない悲惨な出来事でした。

働く者にとっては、生きがいを求め、人と人とのふれ合いを大切にして、班長を中心とした信頼関係を大切にして、明かるい職場が必要です。

“安全は全てに優先する”心構えをもって作業すれば、地域社会のニーズに応えることができます。

快適で緑あふれる町江田島を我がシルバーで美しく。

より美しく、明るく住みよい町を 築いていきます

平成6年

- 1.20 シルバー江田島第2号発刊
施設管理班結成
- 3.31 3月期通常総会開催
当初予算額 79,729千円
- 4.14 5周年記念植樹
(江田島公園 梅100本)
- 5.30 5月期通常総会開催
決算額 78,372千円
会員数 195名
- 7.1 シルバー江田島第3号発刊
- 10.10 シルバー江田島臨時号発刊
- 10.26 会員親睦旅行(皆生温泉)
~27

1994



■浄水場砂かき作業



■塗装作業



■剪定講習会



■術校ガイド



■普及啓発活動(西沖棧橋)

発足当時の思い出から

切串地区 下野 一彦さん
 初期のシルバー人材センターに入会し、色々な体験をしました。道路沿いの草刈から、庭の松の剪定等先輩諸兄の指導の下で、何となく他人の庭の剪定を始め、終わった後、家主さんからの「ありがとうございました」との一言で安心し続け、今でも我が家の剪定を続けております。次は旧海軍兵学校のガイドの仕事が入り講習を受け、生まれて初めての仕事で冷汗をかきながら、全国から見学に来られる人達を案内するのは大変楽しい仕事でした。その後、全く経験のない竹炭焼きの話が出て、先進地の竹原、千代田、吉田等、各施設の見学に廻りました。当センターも窯が出来上がり、未経験の会員同志が試行錯誤しながら焼くだけ焼いておりますが、今は出来た製品の販売に悩んでおります。

色々な体験をしながら、今日に至りました。その間会員の皆さんに助けられながら続けております。今後共よろしく願います。

より美しく、明るく住みよい町を
 築いていきます

平成7年

- 1.1 シルバー江田島第5号発刊
- 3.31 3月期通常総会開催
当初予算額 83,717千円
- 5.31 5月期通常総会開催
決算額 82,623千円
会員数 182名
定款の一部変更
理事(11名)及び監事(2名)の選任
- 7.1 シルバー江田島第6号発刊
- 9.26 会員親睦旅行(別府温泉)
~28
- 10.8 古鷹山清掃(ボランティア)
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展初参加
- 10.15 フェスティバル江田島参加

1995



■5月期通常総会



■町文化祭親子創作コーナー



■手打ちうどんづくり(ふるさと交流館)



■安全就業講習会



■ふるさと交流館館内スナップ



■町コミュニティセンター清掃作業

発足当時の思い出から

秋月地区 山本 数美さん
 草刈機がセンターでまだ10台も無い頃のことです。小方タンク丘の昔は畑であったと思われる段々を草刈作業で、私の使用する機械の調子が悪く2〜3分廻れば止まり、かかりは悪く、腕は痛くなり、汗は出るし、他の人の半分も草刈ができなく、随分くやしき情けなかつたことがありました。常に機械の整備は大切なことだどつくづく感じました。また、油タンクの上部補修作業で、センターの会員2名が応援に行くこととなり、30m位ある、タンクのサイドの昇降階段を使用して、最上部作業場所に行くのに、初日は足がふるえて、眼まいがしそうになり、途中でやめることもできなく、大変恐ろしい思いをしたことがありました。

3〜4日で大分なれた様に思います。なつかしい思い出です。

より美しく、明るく住みよい町を
 築いていきます

平成8年

- 1.1 シルバー江田島第7号発刊
- 2.22 地区研修会開催(4か所)
~27
- 3.29 3月期通常総会開催
当初予算額 84,020千円
- 5.28 5月期通常総会開催
決算額 78,903千円
会員数 199名
- 6,10 工芸教室(竹細工・木工品)発足
- 7.1 シルバー江田島第8号発刊
- 10.22 会員親睦旅行(松山・内子)
~23
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加

1996



■地区研修会(切串地区)



■草刈り作業(誠心園)



■エアコンの清掃作業



■ 応急処置講習会



■ 会員親睦旅行(ニッカウスキー九州工場)

高齢者の方々を訪問

宮の原地区 山本茂子さん
週に一度、高齢で一人住いの方々の家庭訪問をさせて頂いています。色々と話の進む中で、大変勉強になることや、胸をジーンと打つこと等、何10年もの積る話は宝物です。

生きることへの一日一日の努力の大切さを、明日からの強き第一歩を頑張っておられる心意気、姿がうかがえます。

時々るすの方があり、会うことができない時は、2度3度と訪問したり、夜に電話が通じない時は、近所やかかりつけの病院等に電話連絡し確認を取るなど、皆さんのご協力に感謝しています。

私自身健康に注意して、もう少し続けさせて頂きたいと願っています。

より美しく、明るく住みよい町を
築いていきます

平成9年

- 1.1 シルバー江田島第9号発刊
- 2.24 地区研修会開催(4か所)
~27 独自事業開始(竹細工・木工品)
- 3.27 3月期通常総会開催
当初予算額 86,070千円
定款の一部変更
- 4.13 鷺部公民館まつり参加
- 5.30 5月期通常総会開催
決算額 81,946千円
会員数 209名
理事(11名)及び監事(2名)の選任
- 7.1 シルバー江田島第10号発刊
- 8.20 シルバーワークプラザ起工式

1997

- 10.2 会員親睦旅行(鳥取砂丘)
~3
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加
- 11.30 小用区コミュニティまつり参加



■日米女性交流会(竹トンボ製作)



■竹細工教室



■剪定講習会



■廃棄物処分作業



■家屋解体作業



■町文化祭竹細工製作指導



■竹細工製作

光陰矢の如し

小用地区 西野 文三さん
 私が当センターに入会したのは62歳、
 今から10年前でした。事務所は現在の
 ふるさと交流館にありました。光陰矢の如
 し最初の仕事が草刈仕事で、初めて手
 にする草刈機でした。一寸ここで私事に
 ふれてみます。当センターに入会する迄、
 私は船員で、タグボートの機関長を40年
 していました。陸の仕事は無経験で、作
 業を終えて家に帰り、食事の時に妻にぐ
 ちを云いました。仕事がついと、しかし、
 仕事がなれると不思議なもので楽しく草
 刈作業ができる様になり、今では班長の
 役職を頂いて、自分なりにマイペースでや
 っています。72歳を過ぎた今、会員の皆さん
 と仲好く楽しく仕事ができたら良いと思
 っています。

より美しく、明るく住みよい町を
 築いていきます

平成10年

- 1.1 シルバー江田島第11号発刊
ふるさと交流館手打うどん販売廃止
- 1.20 地区懇談会開催(4か所)
~25
- 2.26 シルバーワークプラザへ事務所移転
- 3.1 シルバーワークプラザにて事務開始
- 3.15 中央公民館まつり参加
- 3.30 3月期通常総会開催
当初予算額 94,396千円
定款の一部変更
- 4.3 シルバーワークプラザ開所式
シルバー人材センター事務所開き
- 4.12 鷲部公民館まつり参加
- 5.1 シルバー江田島第11号発刊

1998

- 5.26 5月期通常総会開催
決算額 90,991千円
会員数 213名
- 7.1 シルバー江田島第12号発刊
- 9.17 会員親睦旅行(阿蘇・別府)
~18
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加



■みかん収穫作業



■襖張り講習会



■塗装作業



■独居老人乳酸飲料配布



■町文化祭親子創作コーナー



■町文化祭わた菓子販売

健康で頑張ります

小用地区 檜野 昭人さん
 シルバー人材センターの会員となって、早や10年近く草刈作業等をしています。草刈も色々な地面があり、小石が飛んで来て、手足に当たり怪我をする時もあります。草刈を何年やっても、これは止め様がありません。今は、チップソー刃で刈っていますので、石も飛んで来ることはなくなりました。これから皆さんと仲良く仕事をして、怪我のないように頑張りたいと思っています。

私も今年の8月に70歳となります。身体が元気であれば頑張りたいと思っています。会員の皆さん、健康を維持して頑張ってください。

より美しく、明るく住みよい町を
 築いていきます

平成11年

- 1.1 シルバー江田島第13号発刊
- 1.4 就業機会開拓専門員2名配置(3か月)
- 2.1 地区研修会開催(4か所)
~15
- 3.7 小用区コミュニティまつり参加
- 3.21 中央公民館まつり参加
- 3.29 3月期通常総会開催
当初予算額 94,582千円
- 5.23 鷲部公民館まつり参加
- 5.28 5月期通常総会開催
決算額 92,311千円
会員数 237名
理事(11名)及び監事(2名)の選任
- 7.1 シルバー江田島第14号発刊
- 8.1 就業機会開拓専門員2名配置(8か月)

1999

- 9.21 会員親睦旅行(琴平・しまなみ)
~22
- 10.7 まなびピア広島'99参加
~11
- 10.17 フェスティバル江田島参加
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加
- 11.21 江田島高等学校文化祭参加



■家事援助サービス講習会



■花見(グランドゴルフ大会)



■草刈機取扱講習会



■たたみ張替作業

祝 江田島町シルバー人材センター事務所 江田島町シルバーワークプラザ開所式



■ワークプラザ開所式



■班長視察研修(岡山県・真備町)

センターの必要性を 地域社会に認めてもらう

小用地区 松谷 幸江さん

江田島町シルバー人材センターも10周年を迎えました。

当初に比べ現在は少子高齢社会で、子どもと別居の高齢者家庭が増え、シルバー人材センターの受注も多様化したと思います。そこで高齢者の豊富な知識と技術を活用して、いい仕事し、当センターの必要性を地域社会に認めて頂きたいと思っています。若い時の会社勤めと違い、お客様の家では気をつかう仕事も多く、気が重いこともありますが、私達の仕事に満足されて喜んで頂いた時は心も晴々します。

私達高齢者は外に出て働くことが生き甲斐であり、何よりの健康法です。今後も怪我には十分気をつけて、会員の親睦を図りながら皆で楽しい職場にしたいと思います。

より美しく、明るく住みよい町を 築いていきます

平成12年

- 1.1 シルバー江田島第15号発刊
- 2.19 シルバーフェア広島参加(広島市)
~20
- 3.2 地区懇談会開催(4か所)
~14
- 3.5 小用区コミュニティまつり参加
- 3.12 中央公民館まつりシルバー展参加
- 3.24 3月期通常総会開催
当初予算額 105,954千円
- 4.1 就業機会開拓専門員配置(16か月)
- 5.25 5月期通常総会開催
決算額 105,401千円
会員数 230名
- 6.15 竹炭窯火入式
- 7.1 シルバー江田島第16号発刊

2000

- 10.5 会員親睦旅行(柳川・伊万里)
~6
- 10.15 フェスティバル江田島参加
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加
- 11.19 江田島高等学校文化祭参加



■料理講習会



■船底塗装作業



■剪定講習会



■荷物運搬作業



■家屋解体作業



■襖張り講習会

より美しく、明るく住みよい町を
築いていきます

人との出会い

鶯部地区 八木 信寿さん
平成11年1月入会。今年で満5年が経過しました。急変した環境の中で、私のような何の取り柄もない者が、5年間も仕事が続けられたのは何か、自問自答しました。答えはすぐ出ました。それは、会員の皆さんの心温かい気持ちで、私に協力してくれたことです。次に事務局の適切な指導と、私を温く見守ってくれたことです。当初は物損事故の連続でした。その後は仕事にも慣れ、暑い時、寒い時、辛い時、“それは仕事だ”と思い、泣きごと一つ云わず頑張りました。

それ以上に、人との「ふれ合い」が素晴らしい。仕事の疲れは、次の日に残らない。人と人とのふれ合いは一生の宝物。

今後も人と人との結びつきを大事にして、シルバー人材センターの発展に寄与したいと思っています。

平成13年

- 1.1 シルバー江田島第17号発刊
- 2.13 地区研修会開催(4か所)
~23
- 2.17 シルバーフェア広島参加(広島市)
~18
- 3.4 小用区コミュニティまつり参加
- 3.18 中央公民館まつりシルバー展参加
- 3.23 3月期通常総会開催
当初予算額 106,255千円
- 4.1 就業機会創出員1名配置
- 5.29 5月期通常総会開催
決算額 104,857千円
会員数 237名
理事(11名)及び監事(2名)の選任
- 7.1 シルバー江田島第18号発刊

2001

- 9.20 会員親睦旅行(天の橋立)
~21
- 10.7 ねんりんピック広島参加
~9
- 10.14 フェスティバル江田島参加
- 11.3 江田島町文化祭シルバー展参加



■シルバーフェア広島(竹細工製作実演)



■料理講習会



■小用区コミュニティまつり(わた菓子販売)



■パソコン講習会



■班長視察研修(福岡県・古賀市)

より美しく、明るく住みよい町を
築いていきます

安全に十分注意し 発展に寄与

鶯部地区 梅田 好政さん

平成14年10月に44年間のサラリーマン生活を卒業して、シルバーにデビューしました。

最初の仕事がピン、カン拾いの道路清掃作業でした。環境美化作業は、町民の皆さんに喜ばれ大変やりがいがあり、島内の隅々まで興味深く観察することが出来、季節の変化に感嘆する日々が魅力的でした。おまけに路端で仕事の方々と会話が有り「ご苦労さんです」と励ましの声をかけられ、ミカンや草花等を頂き、ボランティアで無いのが少し残念でした。観光客の皆さんも以前よりは気持ちよくお帰りできるのではと自負しています。今後は安全に十分注意して、シルバー人材センターの発展に寄与していきたいと思っています。

平成14年

- 1.1 シルバー江田島第19号発刊
- 2.2 シルバーフェア広島参加(広島市)
~3
- 3.3 小用区コミュニティまつり参加
- 3.10 中央公民館まつり参加
- 3.26 3月期通常総会開催
当初予算額 112,249千円
- 5.3 江田島農業感謝祭参加
- 5.27 5月期通常総会開催
決算額 105,989千円
会員数 244名
- 7.1 シルバー江田島第20号発刊
- 9.19 会員親睦旅行(日田温泉)
~20

2002

- 10.19 フェスティバル江田島参加
~20
- 10.23 (社)江田島町シルバー人材センター
設立10周年記念式挙行
- 10.26 社会奉仕活動(林道子供の国)
- 11.3 江田島町文化祭参加



■パソコン講習会



■ガーデニング講習会



■ソーイング講習会



■町文化祭(やきいも販売)



■草刈機取扱講習会



■かんきつ剪定講習会

より美しく、明るく住みよい町を
築いていきます

シルバー会員になって 10か月を省みて

中央地区 佐藤 孝夫

私がシルバー人材センターの門を叩いたのは、地域の為に何か貢献できるのではないかと云う動機からです。

新人は、ビン、カン拾いからとの話のときは以外な感じがしましたが、作業をしてみてもビン、カンの多いことに驚きました。また、初めての道を多く知ったことです。環境保全美化運動に少しではありますが、貢献できたのではないかと考えています。

少子高齢社会がますます進むにつれ、現役世代社会が十二分に力を発揮できる様な環境が必要かと思われるので、その様な環境作りがあれば参加してみたいと思います。

10周年記念式典



記念式典は、平成14年10月23日(水)午前10時から、江田島町文化センター四階大ホールで、会員百余名出席し、平木江田島町長をはじめ来賓多数のご臨席を得て盛大に行われました。

まず、嶮山事務局長の司会で開会のことばに始まり、センター設立以来亡くなられた会員の冥福を祈るため1分間の黙祷をささげ、次いで、山佐理事長あいさつ。

来賓多数の方々を迎え、設立10周年記念式典を盛大に行うことは、誠に大きな喜びであります。当初は1枚の紙、1本の鉛筆で発足した苦しみを味わい、会員も88名でスタート、平成4年10月20日の法人化当初167名でしたが、現在248名となっており、受注件数も年々右上がりになり上昇して1,388件、金額も7,600万円となっております。会員の拡大、仕事の増加、安全就業を三本の柱として自主、自立、共働、共助の精神をもって、地域社

会に信用されるシルバー人材センターとして歩いていく所存です。これもひとえに行政をはじめ、地域の方々の方々の一方ならぬご支援の賜物と深く感謝いたしております。

平木江田島町長祝辞

多数の会員が参集され、ここにシルバー人材センター10周年記念を迎えられ、おめでとうございます。ただ今理事長からのあいさつの中で発足当時からの話がありましたが、理事長をはじめ役員のご努力に対して感謝しております。ワークプラザについては、懐かしさと共に沢山の方々のご協力を得て、枠が少ないにもかかわらず最後のチャンスに乗り、建設の運びになったのですが、町サイドにおいてもそれなりの助成をさせてもらっています。今やシルバー人材センターは、町民の負担にこたえて十分にその力を発揮しております。どうぞ皆さん、生涯現役として町民のため、また町の発展のためにご尽力をお願い



■かんきつ剪定講習会



■剪定講習会



■ボランティア作業(林道清掃)



より美しく、明るく住みよい町を
築いていきます

座談会

司 会 ただいまより、設立10周年を記念しまして座談会を開催させていただきます。

千里の道も一歩からと申します。何事にも始まりがあるわけですが、まず初めに設立当時の状況につきまして、当時から現在まで、当シルバー人材センターを育てていただきました、山佐理事長に経緯等についてお話しただければと思います。

山 佐



平成元年5月に二井町長、白井民生課長さんと協議し、高能協設立のため、設立趣意書を作って、各集落をまわりました。

その際、出席者は98名でした。その後、設立準備会を3回もちまして、平成2年1月12日に設立総会を開催しました。会員111名でスタート、契約金額は1,828万円だったと記憶しています。

その後、シルバー人材センターの法人化へ向けて取り組みを始めました。社団法人となるためには、会員数150名、年間就業実人日は5,000人日以上という条件があるので、会員の獲得に走りまわり、発起人会を4回開き150名になったので、亡くなられた森さんと一緒に県庁に行き、手続きをしました。

9月20日に認可が下り、会員166名で平成4年9月21日設立総会を開きました。総会出席者は84名でした。

平成4年10月20日社団法人江田島町シルバー人材センターとして、スタートしたわけです。

司 会



設立当時のご苦労というものが大変だったということがよく分かります。次に理事長と同じく当初から就業しておられます小松さんお願いします。

小 松

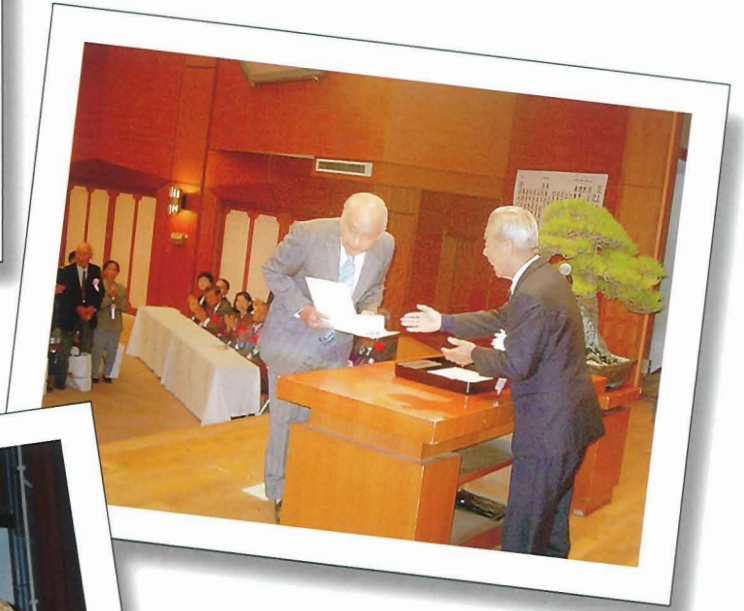


私は、中央公民館2階の狭い事務所で、森さんと一緒に働き始めました。最初は何事も手探ぐりでした。江田島公園での草刈り作業は、皆なで一列に並んで鎌で刈りました。当時は、シルバーは“失対”とよく間違われ、“失対ではない”を合言葉に作業に一生懸命励みました。まず実績を残すことに専念し、必要以上に気をつかいました。

司 会 事業拡大に向けてのご苦労、ほんとうに大変だったと思います。

会員の皆さんの懇切ていねいな仕事ぶりが町民の皆さんに高く評価されたことも大きな要因だと思います。就業にあたられましたは、事務局職員に見えないご苦労もあったと思います。

それでは一般作業で活躍されています、



いたします。本日は誠にありがとうございます。

続いて次の方々からもそれぞれ祝辞を頂戴しました。

道口江田島町議会議長、広島県商工労働部長代理渡辺雇用対策室長、広島労働局職業安定部長代理平田職業安定課長、広島県シルバー人材センター連合会長代理蓼原事務局長。

次いで来賓の紹介。

呉職業安定所長代理福永次長、江田島町福祉保健課吉田課長、特別養護老人ホーム誠心園平野園長、ケアハウスこよの里親和園前寺施設長、江能広域事務組合中下事務局長、国立青年の家瀬戸山庶務課長の紹介が終わって、功労表彰。

○会員として連続10年以上就労実績のあった者

宇根川徳夫氏ほか40名

○役職員として勤続8年以上で事業運営に貢献した者

山佐一男ほか6名

○永年勤続職員

下平修子次長

感謝状

○四期8年以上役員を務めた者

委員会委員

下野一彦氏ほか3名

○4年以上地域班等の世話を務めた者

職群班長

宇根川徳夫氏ほか6名

にそれぞれ表彰状、感謝状と記念品を贈られて午前10時55分式典は終了し、続いての、記念講演は、「笑う門には福来る」と題して、講師秋風亭てい朝氏によるユーモアに富んだ話の開場は、終始笑いが絶えないひと時を過ごしました。午前11時40分式典行事を終りました。

座談会

西 村



同じ退職者で、仕事のない人もいるのに、働く所があって大変喜んでます。また、先輩になにからなにまで教えてもらって、本当に助かっています。

司 会 山田さん、家事援助は、特に一人で家庭の中に入っての仕事のためご苦労も多いと思いますが、いかがですか。

山 田



家事援助は、よその家庭にはいるので、家族との信頼関係が第一です。家族との関係が気まづくなると、足が遠のきます。私は、寝ている人に“外に出て歩くようにならないければ”と励ましています。

山 佐 仕事の拡大、継続は信頼関係あってのことですね。

司 会 今後は、第2次世界大戦後に生まれた団塊の世代が順次高齢者の仲間入りをする状況にありますので、会員数はますます増加するものと思います。

当センターが将来に向けて、ますます発展、拡充していくため、また、魅力あるシルバー人材センターとして高齢者を始めとした

より多くの町民の方々に注目していただくため、江能4町の合併を含め将来に向けての展望、また、この様なシルバーであってほしいという夢がございましたら語っていただければと思います。

瀬戸垣内 合併したら能美3町と一緒になるのですか。

司 会 4町が合併し、江田島市になれば、一つの市にシルバー人材センターは一つしか置かれませんか。これから会議を度々もって、合併にむけて進めていきます。大柿町にはミニシルバーがありますが、能美・沖美町にはありません。合併すれば会員も、受注も増えると思っています。

小 松 合併したら竹炭生産の件はどのようになりますか。大柿町には江田島の10倍くらいの経費をかけたいい設備がありますが。

司 会 大柿の施設は、町のもので、その扱いをどうするかは、今後の課題です。

樽 本



ある家のどんぐりの木を伐りに行ったら、その幹や枝が椎茸の原木になるので、種を打ってくれと言われたことがあります。

椎茸づくりや玉ねぎの苗づくり等を手がけたらどうでしょう。

山 佐 呉市の郷原ではキャベツ、海田町では花の苗づくりをやっていますね。

司 会 いづれにしても、自然のもので、国から補助がつき、講習を行い、それを活用した事業を考えています。

耕作放棄地を借りて、苗づくり、花づくりが出来ればいいなと思っています。また

樽本さん、班長としてリーダーシップを発揮していただいておりますが、就業にあたりましてそういったお話等ございましたらお願いできればと思います。

樽本 シルバーには感謝しています。仕事は山佐勇さんや、丸子さんに手取り足取り教わりました。

私は今、作業現場に着くと、現場を見てまわり、気をつけること、作業の手順をいっしょに就業する会員に指示しています。

安全に特に気を配り、仕事をしながら班員の仕事を見てまわっています。

司会 就業時の安全には特に注意しなければなりませんね。

剪定班長として活躍の瀬戸垣内さん、主に民間でのお仕事が多いようです。ご家庭の方の発注も多いと思いますが、今まで何か苦労されましたようなことがございましたら、また楽しいことなどございましたらお話いただけたらと思います。

瀬戸垣内



個人の家庭の剪定の仕事をさせてもらって、作業が終わったあとに、次回もまた、お願いしますと依頼されることが、いちばんうれしいです。そのためには、見積りの予算内で、仕事が納まるよう、気をつけて仕事をしています。

司会 発注者とのコミュニケーションをとっていくことが大切ですね。また、口コミで仕事が広がるということは大事だと思います。

シルバーの会員さんが信頼の評価をうけたものが、地域に広がり、シルバーは地域

社会に貢献するというのが本来の趣旨と言えることだと思います。

小松 以前は、発注者の方が、契約以外のことをたのまれることが、多々ありました。そのような時には断わずにやっていました。

司会 現場で追加の仕事をたのまれたら断わり切れない場合もあります。下見をしたうえで、発注者に必要と思われる時間を伝えることも大切なことですね。

樽本 作業時間はなん時からなん時までですと必ず伝えるようにしています。

司会 前浜さん、襖、障子張りの作業ではどうですか。

前浜



障子張り以外に、タンスを直してくれなどの小さな仕事の要望が出たことがあります。

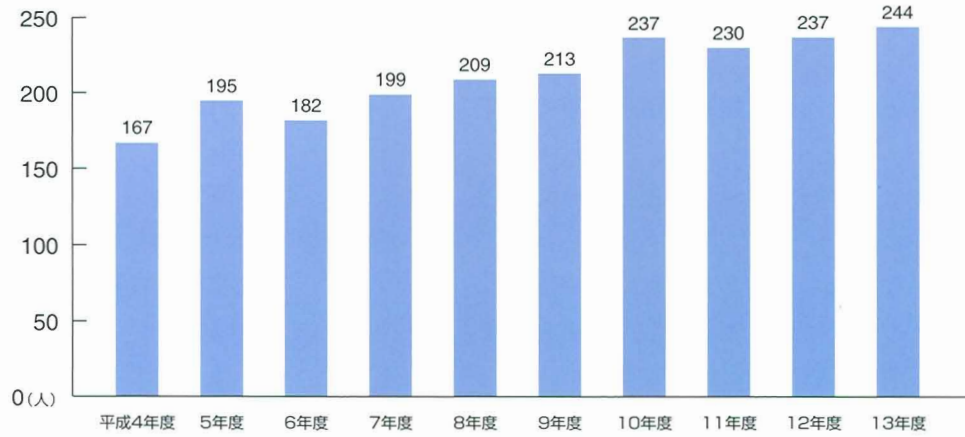
司会 石井さん、保育所園児の送迎はいかがですか。

石井

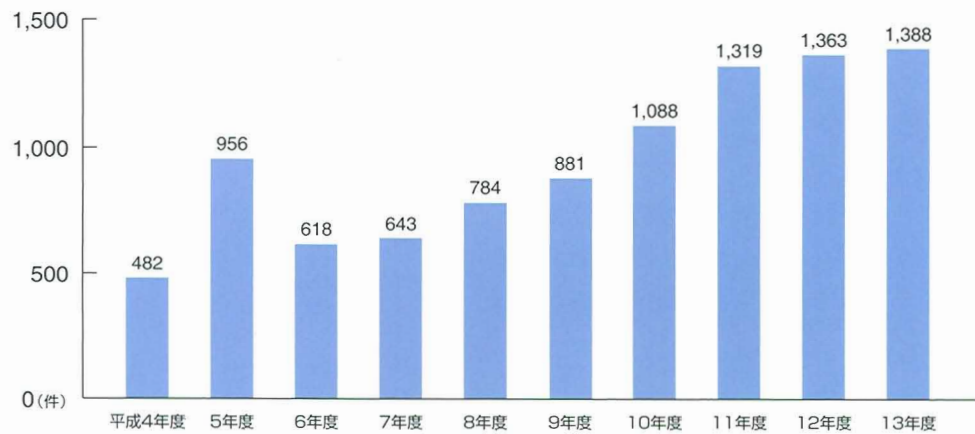


とてもにぎやかです。今はもう慣れましたが。

■会員の推移 単位:人



■受注件数 単位:件



■就業延人員と就業率の推移



つくった花や苗の販売計画も十分考慮する必要があります。

小 松 これから伸びるのは福祉援助だと思います。

入院患者さんの衣類の洗濯の仕事などです。

瀬戸垣内 ジャムやマーマレードなどを作っているのですか。

司 会 食品の製造となると、それなりの施設も必要となりますし、十分皆さん方の意見を聞いて取り組むべきだと思います。

小 松 サイズ外の竹炭を10kg又は15kgの袋に入れて販売することも考えてみたいです。ところで剪定した枝葉のチップ化はいかがでしょうか。

司 会 サイズ外の竹炭は、下水道工事に併せて、便所の改修の際、床下に敷くという家庭がときたまありますので、水道工事店さんとの連携を取り販売する方法もありますね。

次に枝葉のチップ化の件ですが、年間公園とか各家庭からどれくらいの量が出るか計って、データーを取る必要があります。ただ小さい町なのでどれくらいの量があるか、設備投資をしても採算がとれるか心配です。

司 会 短い時間でしたが、皆さんの意見をいろいろとお聞かせいただきまして、これから先の私達シルバー人材センターのあり方も少しは見えてきたような感じがします。

江能4町の合併も目の前に迫っております。

新しいシルバー人材センターに向けて、夢の実現に向けて、会員皆さんと事務局が共に車の両輪のごとく歩んで行きたいと思っています。

まだまだお話も尽きないようですが、このあたりで設立10周年記念誌発刊に対する座談会を終わらせていただきたいと思います。本日は長時間、また、貴重なご意見ありがとうございました。

これを生かしてこれからも活動を続けていきたいと思っています。



広報誌でふりかえる江田島町シルバー人材センターのあゆみ



●創刊号(平成5年7月10日)



●第2号(平成6年1月20日)



●第3号(平成6年7月1日)



●臨時号(平成6年10月10日)



●新春号(平成7年1月1日)



●第6号(平成7年7月1日)



●第7号(平成8年1月1日)



●第8号(平成8年7月1日)



●第9号(平成9年1月1日)



●第10号(平成9年7月1日)



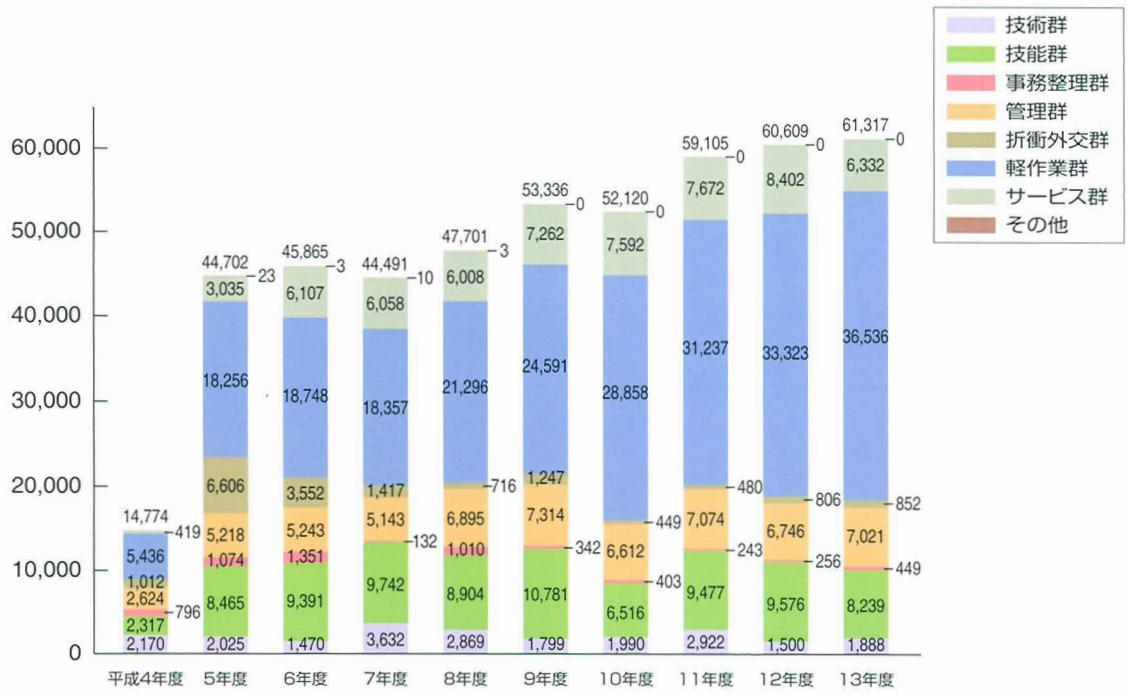
●第11号(平成10年1月1日)



●ワークプラザ開設記念号
(平成10年5月1日)

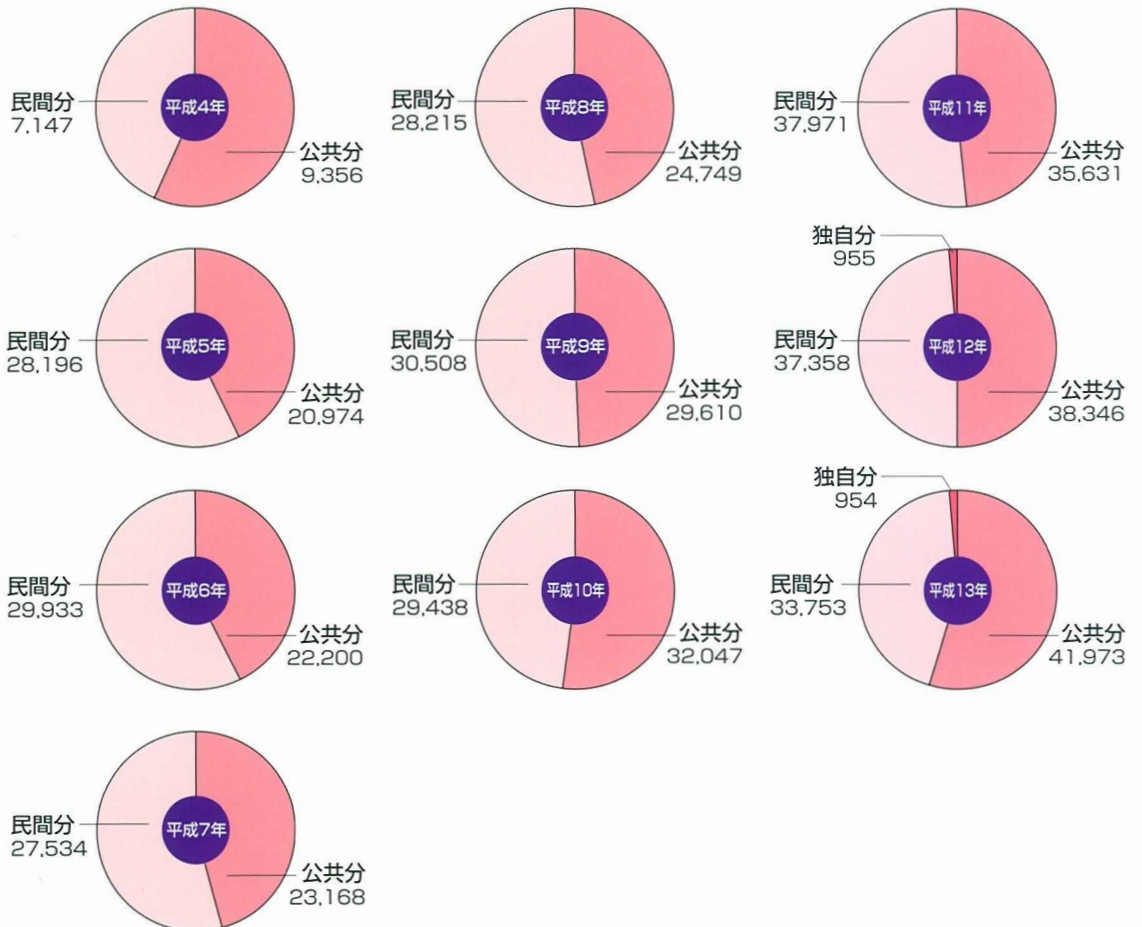
■職群別配分金額の推移

単位:千円



■契約金額の推移

単位:千円



シルバー人材センターとは？

- 「自主・自立、共働・共助」がシルバー人材センターの理念です。シルバー人材センターは、助け合いながら仲よく共に働くことによって社会に参加し、そこに、喜びや生きがいを見いだそうとする地域の高齢者が集まって組織し、自主的に運営する団体です。
- 自主的な会員組織です。会員は自分たちで役員を選び、組織や事業の運営に参画します。
- 公益的・公共的な団体です。都道府県知事の許可を受けた社団法人で、地方公共団体及び国の補助事業です。
- 会員が働いた仕事量に応じて「配分金」を支払います。就業や収入の保障はありませんが、各人の希望と能力に応じた働き方ができます。
- 会員の知識・技能を高めるため各種の講習を実施しています。

会員を希望される方は？

- 原則60歳以上で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同して入会説明を受け、入会申し込みを提出した人。（理事会の入会承認が必要です。）
- 定められた会費を納入した人。

仕事の発注にあたって

- 手軽に電話でお申し込みになれます。
- ご相談、お見積りのうえ、センターが契約を結びますので、会員の就業については、すべてセンターにお任せいただけます。
- 雇用や人材派遣と違い請負、委任によってセンターが仕事をお引き受けし、責任をもって完成（遂行）いたします。
- 収益を目的としないので、一般的に割安です。
- 公益的・公共的団体なので安心です。
- 無料職業紹介も行っています。





●第12号(平成10年7月1日)



●第13号(平成11年1月1日)



●第14号(平成11年7月1日)



●第15号(平成12年1月1日)



●第16号(平成12年7月1日)



●第17号(平成13年1月1日)



●第18号(平成13年7月1日)



●第19号(平成14年1月1日)



●第20号(平成14年7月1日)



●第21号(平成15年1月1日)



●第22号(平成15年7月1日)



●第23号(平成16年1月1日)

編集を終えて

平成4年に当センターが設立されて以来、業績も年々伸展する中で、設立10周年を迎えられたことは誠に喜ばしい限りです。

当センターでは、この記念すべき年に式典の挙行とともに、記念誌の発行が企画され、平成14年9月27日「江田島町シルバー人材センター設立10周年記念事業実行委員会」が発足し、私たちが記念誌編集を担当することになりました。

現在江田島町では、江能4町の合併事務が進んでおり、本年11月1日には、新しい市「江田島市」が誕生する予定で、諸手続が進められています。合併が実現すれば、町から市へと変わり、当シルバー人材センターも、いちだんと大きく生まれ変わります。

このようなことから、当センターの10年間のあゆみをひとつの節目として、また、残されている資料と写真にもとづき正確に残し置くことを基本として記念誌の編集にあたることにしました。なにしろ、このような記念誌編集には、不慣れなものばかりのため、編集の手法、その他において、ご不満な点が多々あると思いますが、会員に親しまれる記念誌であること、今後、当センターに関心をもたれる方々になんらかのお役に立てばと願いながら、精いっぱい努力いたしました。

終わりにりましたが、本誌の発行に当たり、多くの方々からご祝詞や、ご寄稿をいただきましたことに、厚くお礼申し上げますとともに、今後も当センターにご支援賜りますようお願い申し上げます。

設立10周年記念事業実行委員会 記念誌編集担当委員

委員長 板垣 寶潤

委員 風呂井 侃

〳 新本 清一

〳 小松 貢

〳 下谷 源蔵

〳 森 修一

〳 岡本 光子

シルバー人材センターのしくみは？



会 員

原則60歳以上の
健康で働く意欲のある方

- 希望職種の登録

仕事の提供・
就業



シルバー人材センター

仕事の受注・契約

- 配分金の支払い

- 臨時的・短期的仕事の受注
- 契約内容の履行

請負・委任



発注者

仕事を出す方々
(企業・家庭・公共団体等)

- 仕事の発注
(契約書の作成)
- 契約金の支払い

会員のみなさんは、こんな仕事をしています。

技術を必要とする分野

- 襖・障子貼り
- 大工仕事
- ペンキ塗り
- 植木手入れ
- 保育園等の送迎など

屋内外の一般作業

- 公園清掃
- 樹木消毒
- 除草・草刈り
- 包装など

折衝・外交分野

- 広報誌の配布
- 検針・集金など

管理分野

- 公民館管理
- 駐車場管理など

サービス分野

- 福祉・家事援助サービス
- 観光ガイドなど

専門技術分野

- 経理事務
- パソコンなど
- 竹細工製作指導など

事務分野

- 文書管理事務
- 毛筆筆耕
- 宛名書き
- 受付事務など

【江田島町民憲章】

江田島は、美しい自然景観と温暖な気候に恵まれ、すぐれた教育文化の伝統を持っております。

私たち町民は、この江田島を愛し、町民であることを誇りにしていますが、さらに、みんなの努力と協力によって、より美しく明るく住みよい豊かな町を築いて行くことを念願し、ここに江田島町民として実践して行くべき生活のよりどころを「江田島町民憲章」として定めます。

- 1 私たち江田島町民は、環境を浄化し、美しい町をつくりましょう。
- 1 私たち江田島町民は、互いに助け合い、明るい町をつくりましょう。
- 1 私たち江田島町民は、きまりを守り、住みよい町をつくりましょう。
- 1 私たち江田島町民は、元気で働き、豊かな町をつくりましょう。
- 1 私たち江田島町民は、郷土を愛し、平和な町をつくりましょう。

昭和50年10月制定



【江田島町章】

上部の三角は、江田島のシンボルである古鷹山を表わしています。3本の筋は海（水）と、そこに映る影を表現すると同時に、江田島の頭文字“E”をかたどっています。

昭和51年 9月制定



【江田島町の木及び町の花】桜

江田島の桜はオオシマザクラが中心。3月から4月に開花し、江田島の春を華やかに彩ってくれます。また、古鷹山大火災のあと13万本の桜が火災後の緑化のため植樹されており、全山に桜が咲き乱れる全国的な桜の名所になる日を目指しています。

昭和54年12月制定



【江田島の鳥】鷹

難破寸前の小舟を救った大鷹の伝説が江田島に伝わっていますが、この鷹の何事にも挑む気構えや、常に細心の注意を周囲に配る周到さを讃え、「町の鳥」に制定されました。

昭和60年 5月制定

10周年記念誌 銀輪

発行日 平成16年 3月22日

発行 社団法人江田島町シルバー人材センター

〒737-2122 広島県安芸郡江田島町中央一丁目15番15号

☎0823-42-5211

編集 設立10周年記念事業実行委員会

印刷 株式会社ぎょうせい 中国支社

〒730-8087 広島市中区八丁堀 2番6号

☎082-221-6711

